

持ち物

- 通学用かばんは両手があくものとしします。
※通学用かばんが一杯の時は、トートバッグを使用します。
- すべての持ち物には名前を書き、大切に使います。
※机やロッカーに入れ、整理整頓します。
- 大切にしている物や貴重な物、普段の遊びに使う物、お菓子、現金など学校に必要なものはないものは家に置いてきます。
※持ってきた場合は、先生に伝え、原則、保護者に返します。
- はんかち、ティッシュは持っておきます。

服装

- 通学時や学校内は、常に公共の場であることを意識し、時間・場所・場面に応じた服装を正しく着用します。
- 服装は標準服、体育時には体操服、給食当番時には給食着を着用します。
－その他、学校行事に応じた服装を着用します。
- 標準服
－児童：ブレザー、長ズボン・半ズボン・スカートのいずれか、白シャツ（汎用品可）
－生徒：ブレザー、長ズボン・スカート・キュロットのいずれか、白シャツ（汎用品可）
※夏服と冬服の着分けは、気候や体調により各自で調整しましょう。
※課外活動時は、体操服や指定の服を着用する場合があります。
- くつ下は状況に応じた機能的なものとしします。
- 帽子は通学や学校行事の時に、必要に応じて着用できます。
- 安全面を考えたうえで、防寒着、防寒具は着用できます。
※耳当てなどの外の音が遮断されるものは使用しない。
校内での、フード付き防寒具は不可
登下校時の外套はフード付き可
- 防寒着や防寒具は、教室のロッカーに片づけます。
- 宗教上又は医療上の理由等で必要となる衣服については、事前に担任の先生に相談し、了承を得て着用します。

身だしなみ

- 髪型は勉強や運動に取り組むうえで、妨げにならないようにします。
- 髪留めやヘアゴムは着用できます。
- 髪色は自然のままの色としします。
- 化粧やマニキュア、ピアス、エクステ、つけまつ毛、カラーコンタクト、装飾品、ヘアメイク、ワックスなどは、学校生活以外でします。